

入札監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成24年12月19日)

開催日及び場所		平成24年12月11日(火曜日)2階第一会議室		
委員		高木 聡廣 (弁護士) 星野 誠之 (公認会計士) 真崎 俊男 (NHK熊本放送局副局長)		
審議対象期間		平成24年7月1日～平成24年9月30日		
審議対象案件		238件うち、1者応札案件34件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件		
抽出案件		20件うち、1者応札案件6件 (抽出率8%) (抽出率18%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件 (抽出率100%)		
抽出 案件 内 訳	工事	一般競争		5件うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件
		指名競争	公募型指名競争	0件
			工事希望型競争	0件
			その他の指名競争	0件
	随意契約		0件	
	業務	一般競争		1件うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件
		指名競争	公募型競争	0件
			簡易公募型競争	0件
			その他の指名競争	0件
		随意契約	公募型プロポーザル	0件
			簡易公募型プロポーザル	0件
			標準型プロポーザル	0件
	その他の随意契約		4件のうち、1者応札案件0件 契約相手方が公益社団法人等の案件0件	
	物品・ 役務 等	一般競争		8件うち、1者応札案件4件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件
		指名競争		0件
		随意契約(企画競争・公募)		0件
随意契約(その他)		2件うち、1者応札案件2件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件		
(特記事項)				

各委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答等
	<p>① 指名停止を受けた(株)イエローハイサポートは九州に営業所等はあるのか。</p> <p>② 総合評価落札方式の入札筆記書で技術評価点が手書きの箇所があるが、なぜか。</p> <p>③ 調査・設計業務で随意契約に係る見積案内が行われているが、登録業者に行われているのか。</p> <p>④ 入札前に予定価格の公表は行っていないのか。</p> <p>⑤ 調査・設計業務に災害があった阿蘇市のものは含まれていないのか。</p> <p>⑥ 不落・不調の随意契約で行われた造林事業について、入札結果はどのような状況であったのか。また、不落理由は何が考えられるのか。</p> <p>⑦ 土石流警報システム保守点検業務は、設置してある機械のメンテナンスであると思うが、最初に設置した業者が行うものではないか。よって、随意契約で行って良いのではないか。</p> <p>⑧ 今回は、調査・設計等業務の予定価格に対して見積額等が近かったが、どのような原因が考えられるか。</p>	<p>① 九州には営業所等はないが、全省庁統一資格の競争参加を希望する地域において「九州・沖縄」を選択している。</p> <p>② 電子入札で行っているため、予定価格を上回った入札を行うと技術評価点が掲載されなくなるため、手書きで記載している。</p> <p>③ 災害調査業務については、緊急に対応することが必要であるため、年度当初に公募を行い、登録した者から見積書を徴取し、随意契約を行っている。</p> <p>④ 入札前に予定価格の公表は行っていない。</p> <p>⑤ 災害があった阿蘇市は私有林がほとんどであり、今回の調査・設計業務には含まれていない。</p> <p>⑥ 入札は2者が参加し行われたが、3回入札を行ったが、不落であった。恐らく、コンテナ苗を使用して植林を行うため、一般的な植付工期よりも低く行うことができるため、工期を高く見積もっていたのではないかと思う。</p> <p>⑦ 国土交通省でも同様な土石流警報システムを使用しており、設置した業者しか保守点検ができないということではないので、一般競争入札で実施した。</p> <p>⑧ 事業体が、梅雨災害によって、県等から多くの事業を受注していると考えられ、当局においては入札不調も発生している状況で、受注量に満腹感があると考えられる。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部局長が講じた措置]</p>	なし	なし